

# スイニー錠を お飲みになる方へ

監修 京都大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌・栄養内科  
科長 稲垣 暢也 先生



## 目次

血糖調節のしくみ .....	2
GLP-1 (主なインクレチン)とは? .....	4
DPP-4阻害薬の働き .....	5
スイニーの飲み方は? .....	6
低血糖が起きたら? .....	8
糖尿病と食事療法 .....	10



製造販売元  
株式会社 三和化学研究所  
名古屋市東区東外堀町35番地 〒461-8631  
●ホームページ <http://www.skk-net.com/>

# 血糖値は、すい臓から分泌される「インスリン」と「グルカゴン」によって調節されています

## 血糖値を調節するホルモン



### インスリン

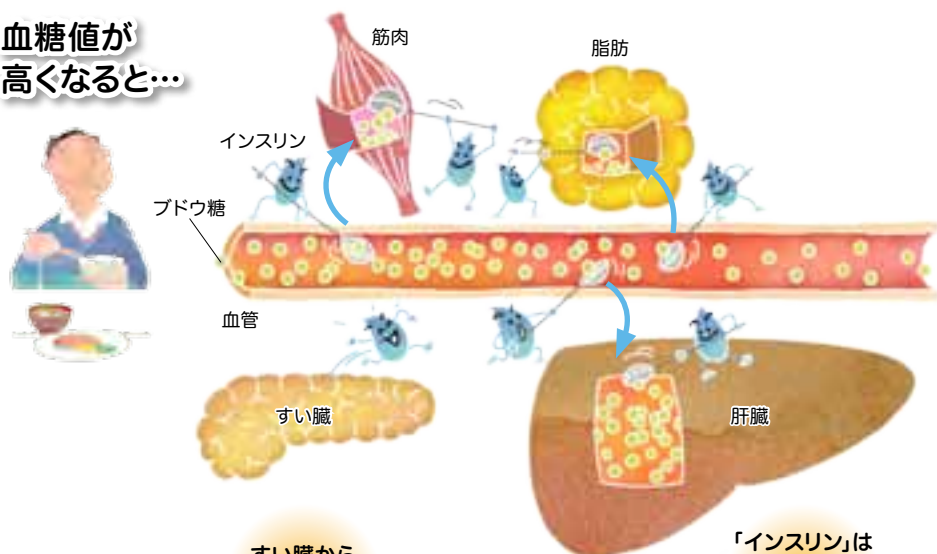
血糖値を下げる働き ↓



### グルカゴン

血糖値を上げる働き ↑

血糖値が高くなると…

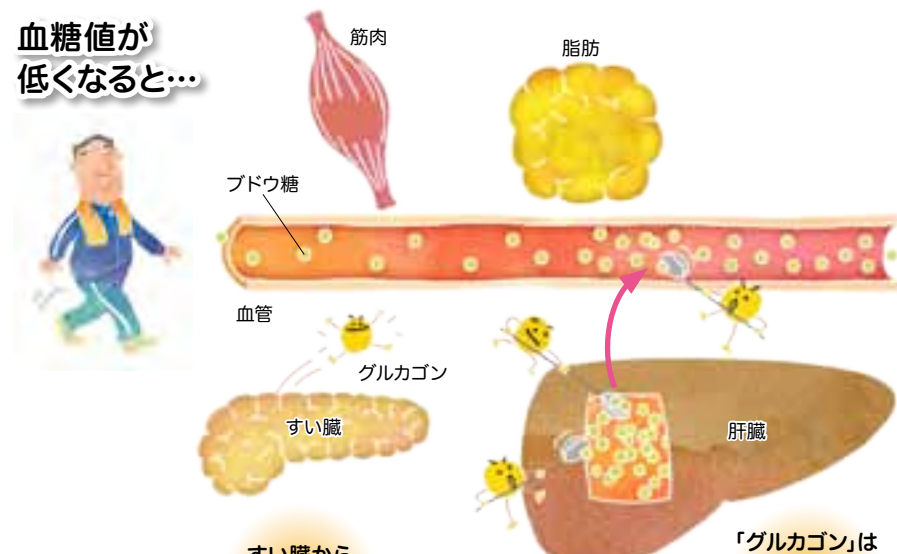


① すい臓から「インスリン」が分泌される

② 「インスリン」は筋肉や脂肪、肝臓にブドウ糖を取り込ませる

③ 血糖値が下がる

血糖値が低くなると…



① すい臓から「グルカゴン」が分泌される

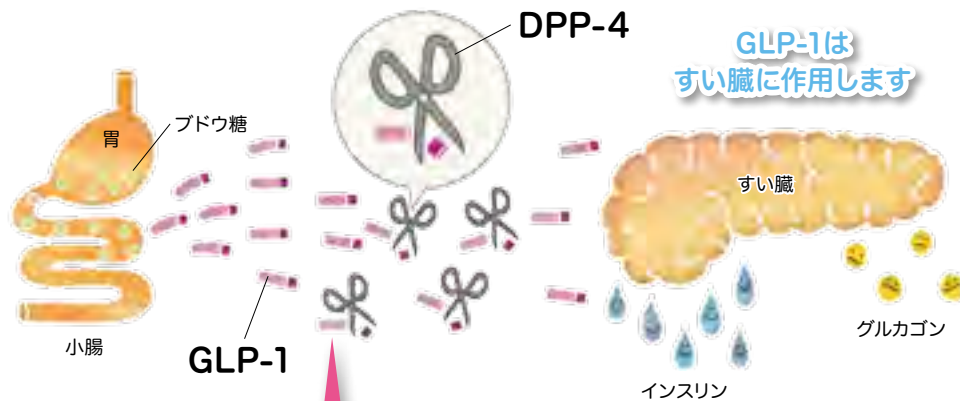
② 「グルカゴン」は肝臓に蓄えていたブドウ糖を血液中に放出する

③ 血糖値が上がる

糖尿病では「インスリン」と「グルカゴン」のバランスが乱れたり、インスリンの働きが悪くなることで高血糖となります。

# GLP-1 (主なインクレチン)とは？

GLP-1は食事に応じて小腸から分泌されるホルモンで、**インスリンの分泌を促しグルカゴンの分泌を抑える**ことで血糖値を正常に保ちます。  
GLP-1は血糖値が高い時だけ働くので、血糖値が下がりすぎる心配はほとんどありません。

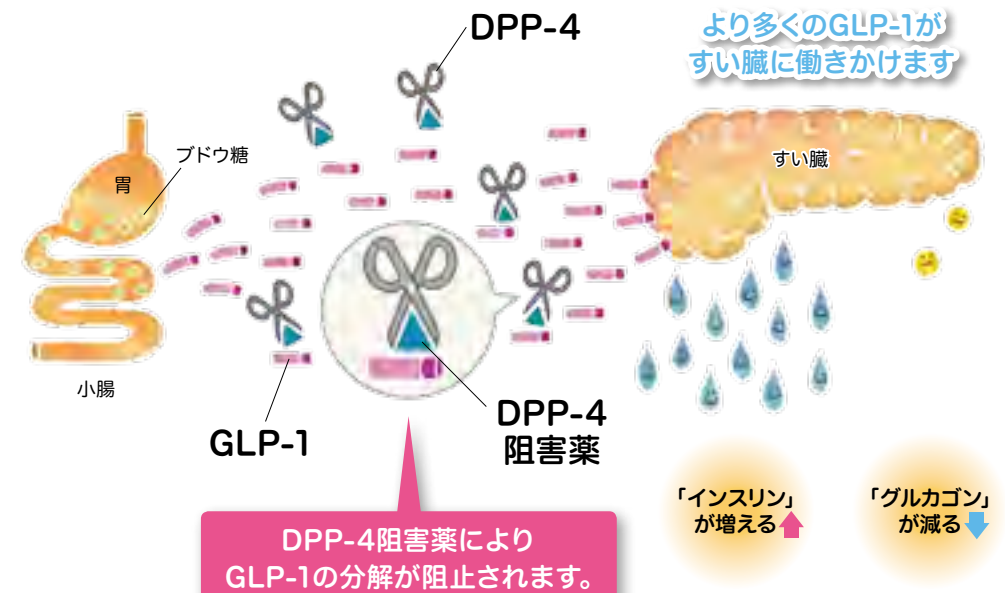


しかしGLP-1の多くはDPP-4という酵素により分解されてしまいます。

糖尿病における高血糖の原因として、GLP-1の作用が低下していることが指摘されています。

# DPP-4阻害薬の働き

DPP-4阻害薬は、**DPP-4によるGLP-1の分解を阻止する**ことで血糖値を改善します。



DPP-4阻害薬によりGLP-1の分解が阻止されます。

「インスリン」が増える↑ 「グルカゴン」が減る↓

血糖値が下がる

# スイニーの飲み方は？

# 1回1錠(または2錠)を 1日2回朝と夕に服用します

スイニー錠は**1日2回タイプ**のDPP-4阻害薬です。  
DPP-4阻害薬には、1日1回タイプと1日2回タイプがあります。

## スイニー錠の飲み方

- 1回1錠(または2錠)
- 1日2回(朝と夕)

服用のタイミングは食事の前か後、  
どちらでも構いません。  
腎臓にご病気のある方は1日1回の  
服用となる場合もあります。

※お薬を服用するタイミングや回数については、主治医の指示に従ってください。



飲み  
忘れた  
とき

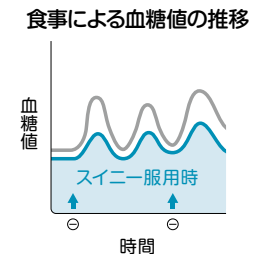
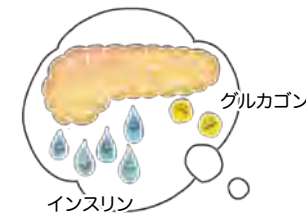
- 気づいたときに1回分を  
飲んでください。

ただし、次の飲む時間が近い場合は  
1回とばして次の時間に1回分飲んでください。  
**決して2回分を一度に飲まないでください。**



## なぜ1日2回なの？

- 1日2回服用することで、毎食後のGLP-1を高く保つことができます。
- そのため、食事ごとのインスリン分泌を増やし、グルカゴン分泌を抑えて血糖値を低下させます。
- 1日2回の服用は、食事を見直すきっかけにもなります。



## 服用後の注意

スイニー錠の服用を始めると、「便秘」などの  
症状があらわれることがあります。

※ほかにも気になる症状がありましたら、主治医または薬剤師にご相談ください。

# 低血糖が起きたら？

# すぐに「糖分」を摂りましょう

低血糖時の  
対処

すぐに糖分を摂りましょう。



注意

$\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬( $\alpha$ -GI:セイブル、ベイスン(ボグリボース)、グルコバイ(アカルボース))と一緒に服用している場合は、必ずブドウ糖を摂ってください。

## 低血糖を予防するために

- お薬の服用の仕方については、主治医の指示に必ず従ってください。
- 食事療法・運動療法はきちんと守ることが大切です。むやみな食事の減量、激しい運動はさげましょう。
- スイニーを別のお薬と一緒に服用すると、低血糖を起こしやすくなる場合があります。別のお薬を服用する場合には、主治医または薬剤師にご相談ください。

## 低血糖とは

血糖値の低くなりすぎた状態が「低血糖」です。低血糖は、進行すると意識を失うこともありますので、兆候があらわれたら早めに対策をとる必要があります。

低血糖の  
症状



あくび  
空腹感  
イライラ  
吐き気



冷や汗  
手のふるえ  
動悸  
けいれん



低血糖昏睡

血糖値

60 mg/dL以下

50~30 mg/dL

20 mg/dL以下

## こんなときはすみやかに医療機関へ

- ・意識が低下するなど症状が重い
- ・ブドウ糖を摂っても低血糖の症状が治まらない
- ・低血糖の症状が長びく、または繰り返し起こる



# 糖尿病と食事療法

## 食事療法は、 糖尿病治療の基本となるものです。

食事の内容は、血糖値に大きく影響します。

お薬の効果を最大限に発揮させるためには、  
食事療法が欠かせません。

初めは難しく感じるかもしれませんが、  
食事療法の基本は、栄養バランスのとれた適量の  
食事を規則正しく摂ることです。医師の指導のもと、  
できることから始めてみましょう。



右のチェックリストを使って  
まずは毎日の食事を見直してみましょう。



**DPP-4阻害薬は食事の時に  
効果を発揮するお薬です。**

お薬を服用するときは  
「食事の内容はこれでよいかな？」  
と確認するように心がけましょう。



## ✓ 食生活改善のためのチェックリスト

まずは今日の食事から意識してみましょう。



野菜→たんぱく質→  
炭水化物の順に  
食べましょう



腹八分目にしましょう



食物繊維を  
多く摂りましょう



間食やデザートは  
控えましょう



食事は1日3食  
規則正しく



脂肪は  
控えめに